

2023年11月14日

課題名：集中治療室の特性や人的資源の配置と集中治療室に入室した
救急患者のアウトカムの関係

◆研究の目的と概要◆

当院では、集中治療を必要とする救急患者の予後（死亡率や入室期間）について集中治療室の特性が与える影響を調べています。本研究では、集中治療を必要とする救急患者の予後改善を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

本研究は匿名加工データベースを用いる研究です（個人は特定できない状況で研究を行います）。

2015年4月から、2022年3月までの間に集中治療室に入室した患者の医療情報を収集し、医療の質の向上および集中治療医学の発展をめざすことを目的としたJIPAD(Japanese Intensive care PAtient Database)データベースに情報が登録されている患者さんが対象となっています。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長・体重、入院の原因となった疾患、基礎疾患、集中治療室で行われた治療、入室期間、各種検査データ、重症度スコア、入室した施設のある病院の種類、ICUに勤務するスタッフ数

◆研究方法◆

本研究では、JIPAD データベースの情報を用いて実施します。このデータベース内の情報には、当院の患者さんの情報を含むことがあります。データベース内に登録されている情報の中から、上記に示す、研究に使用される項目を取得し、本研究の目的を明らかにするための解析を行います。

◆利用するデータベースについて◆

本研究で用いるデータベースについての詳細は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.jipad.org/>

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は含まれません。
 - * 利用する医療データベースから提供される患者さんのデータには、氏名や住所やカルテIDなど、患者さんを特定することができる情報は含まれず、当院のカルテ情報とも

連結することが不可能な状態で提供されます。そのため、本研究の対象となる可能性がある場合で、かつ、研究への参加拒否のご意向がある場合においても、その患者さんの情報を特定することは困難であり、ご意向に沿うことが不可能であることをご了承ください。

* 本研究に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

集中治療科 研究責任者 藤永 潤

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- ・研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法